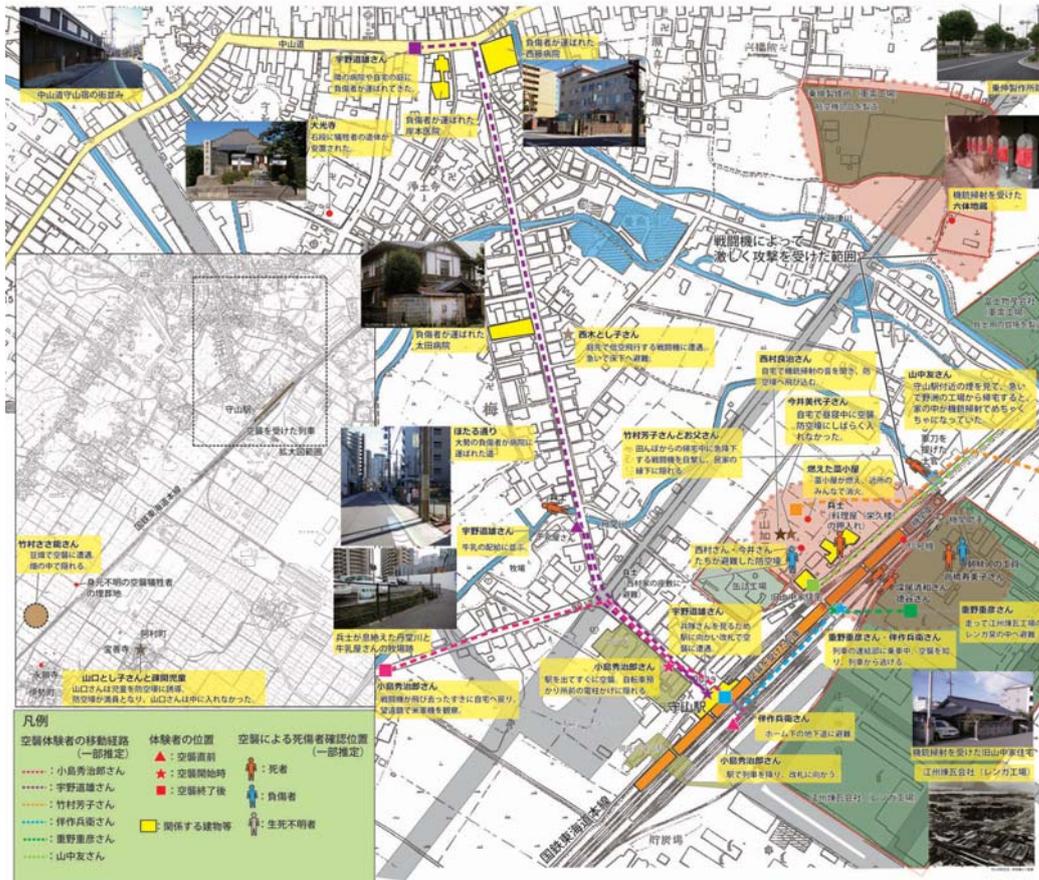


体験証言に見る守山空襲 (空襲時の体験者の体験と行動)



展示バナー「体験証言に見る守山空襲」

今回ご紹介する守山空襲関係者のプロフィール 昭和20年7月30日 本日の予定

守山駅周辺にお住まいの人たち

- 竹村芳子さん**
大津高等女学校生
女子挺身隊で東洋レーヨンへ
7月は原爆のため、実家に
帰省中
父親との墓取り
- 宇野道雄さん**
国民学校生
駅の近所の牛乳屋
さんへ配達牛乳を
もらいに行く
- 西村貞治さん**
東洋レーヨンへ学徒動員
- 山中友さん**
野洲の工場へ出勤

業太農学校生たち

- 高橋美奈子さん**
おばあさんと
家で留守番
- 小島秀治郎さん**
業太農学校3年生
8月から海軍に入隊予定
高砂製作所へ動員動員
- 藤村千穂子さん**
深尾清和さんの妹
国民学校3年生
子供会で勤労奉仕へ
- 深尾清和さん**
業太農学校1年生
近江八幡駅から列車通学
- 徳谷徳弘さん**
業太農学校3年生
蒲原駅から列車で動員先へ?
- 重野重彦さん**
業太農学校1年生
勤労動員で野田
浜子赴へ

**疎開児童のお世話を
された人たち**

- 山口とし子さん**
疎開児童の養母さん
児童とともに守山へ
お寺で子供たちの子守
- ちと疎開先**
- 竹村さきさん**
多聞寺住持の奥さん
ご主人は出征中
受け入れ児童のため、
福家さんの家で昼を
もらう

沿津行き列車の乗客

- 部隊その1
列車で浜松へ兵士を輸送中
おばあさん
途中の駅のところへ向かう
常念寺の住職
口ぐせは「こんな戦争あかん」
- 部隊その2
列車で敦賀へ兵士を輸送中
大阪方面からの乗客
お勤めのため、京都の東本願寺へ?

イラストは加藤誠で描き、イメージです。
出典DVD「大坂から来た人の子」、「道真義経川崎編集巻の巻」のイラストを転載

守山空襲関係者のプロフィール

(3) 企画展示関連事業

地域に残る戦争の痕跡をたどる目的で、昨年度に引き続き八日市飛行場跡周辺の探訪会を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大により参加者の安全を確保できないと判断し、参加者募集の途中で事業を中止した。

戦争遺跡探訪会 「探訪 陸軍八日市飛行場と八日市の街並み」

開催予定日時 令和2年(2020年)3月20日(金)9:00~12:00(中止)

募集人数 30名

事業概要 市内に残る旧陸軍八日市飛行場の痕跡と八日市の街並みをめぐる探訪ツアーを計画し、参加者の募集を行ったが、新型コロナウイルス感染症蔓延予防のため中止となった。

なお、予定した探訪コースは、近江鉄道八日市駅から札の辻バス停までバスで移動し、飛行第三連隊正門跡、冲原神社、飛行場前駅跡を経て、偕行社跡や憲兵隊八日市分遣隊跡などを見学したのち、八日市駅前を終点とするものであった。

全行程約4km。

(4) 特別企画展示

第8回特別企画展示「家族の絆」

会期：平成31年（2019年）4月1日～令和2年3月31日

会場：当館エントランス

開催趣旨

戦争中、多くの方が家族と離れ、戦地へ向かわなければならないなか、家族に対して涙を見せることはできなかった。送り出す家族も「無事に帰ってきてほしい」と心の中で思いながらも、「お国のために」と送り出したのである。

遠く離れた家族を繋ぐモノ、それは家族の写真であった。出征した兵士は戦場で、残された家族は故郷で、愛おしい家族の写真を胸に厳しい時代を必死に生き抜こうとした。今回の特別企画展示「家族の絆」では、出征兵士とその家族を写した多くの写真を通して、一番身近な存在である家族の大切さや絆を、もう一度思い出していただくきっかけとなることを目指した。



展示の様子

(5) 地域交流展示

「新作 戦争体験者 証言映像 2018 上映」

期間：平成31年（2019年）4月3日～令和元年（2019年）6月30日

事業概要：昨年度制作した戦争体験者証言映像を、より広く県民の皆さんに知ってもらおうと視聴スペースを設けて常時上映した。同時に、証言された5名の語る内容を紹介するパネルを展示した。



「滋賀の戦跡パネル展」

期間：令和元年（2019年）7月3日～9月1日

事業概要：滋賀県内に残る戦跡（戦争遺跡）を紹介するパネル（21点）を展示した。また当時の航空写真（ターポリン地図）を使用し、戦跡の位置を記したのもも展示した。



「戦時中の体験 触れる 感じる そして考える」

期間：令和元年（2019年）9月4日～12月22日

事業概要：背嚢を背負った時の重さ体験や国民服の試着、瓶搗き精米など、体験を通して学ぶ展示を実施した。



「県内小中学校平和学習 子どもたちの足跡展」

期間：令和2年（2020年）1月8日～3月22日

事業概要：各校で行われた平和学習の成果物（模造紙にまとめたものや新聞、ポスターなど）を展示した。また、9～12月に来館した学校の児童生徒に書いてもらったピースメッセージ（33校 1730枚）を展示した。

